

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿児島市	喜入生見町帖地地区	令和3年3月30日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	15.7 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	8.7 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	1.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.7 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.7 ha
(備考)	

注1：③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2：④の面積は、下記の「(参考) 中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3：アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4：プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

<p>当該地区は平成6年～13年に基盤整備促進事業により農地の区画整理が行われおり、温暖な気候を利用して、茶、カブやスナップエンドウなどの野菜、水稻等が作付けされている。茶については南九州市頴娃地区からの入作がほとんどである。</p> <p>近年、高齢化が急速に進行しており、今後の農地の維持管理が課題となっている。</p>
--

注：「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>当集落内の農地利用については、中心経営体である認定農業者4経営体が担い、機械化に対応した効率的な農作業ができるよう、農地集積を進めていく。</p>

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、7筆、4,606㎡。中心経営体への集積を図る。
農地中間管理機構の活用方針 将来の経営農地の集約化を目指し、農地中間管理機構を中心に利用権設定を進めていく。
鳥獣被害防止対策の取組方針 地域による鳥獣害対策の体制づくりに取り組む。
農地利用の効率化 隣接した複数の農地賃借の際には、地権者から土手の除去の了解を求め、効率的な農作業ができる農地の条件づくりに取り組む。

（留意事項）

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。

中心経営体 喜入生見町帖地

属性	経営体 (氏名)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	農業を営む範囲
認農	A	オクラ カブ	1.48 ha	オクラ カブ	2.28 ha	喜入生見町帖地
認農	B	オクラ スナップエンドウ	0.53 ha	オクラ スナップエンドウ	0.53 ha	喜入生見町帖地
認農	C	茶	1.96 ha	茶	2.86 ha	喜入生見町帖地
認農	D	茶	0.32 ha	茶	0.32 ha	喜入生見町帖地
計	4人		4.28 ha		5.98 ha	